

条件分岐

「もしも...ならば ~ if 文」

JavaScript では条件を指定して、処理を分けることができます。そのための構文を **if 文** といい、条件式を指定する際に使用する記号を **比較演算子** といいます。

書式：

```
if ( 条件式 ){  
    条件が成り立った場合の処理;  
}
```

<比較演算子>

演算記号	使用例	式の意味
>	a > b	a が b より大きい時
>=	a >= b	a が b 以上の時
<	a < b	a が b より小さい時
<=	a <= b	a が b 以下の時
==	a == b	a と b が等しい時
!=	a != b	a と b が等しくない時

それでは、「sample05.html」を作成し、結果を確認してください。

【sample05.html】

```
<!DOCTYPE html>  
<html>  
<head>  
<meta charset="utf-8">  
<title>sample05</title>  
<script>  
var number = 1;  
  
if(number === 1){  
    document.write("<h1>春の花</h1>");  
    document.write("<h2>チューリップ</h2>");  
    document.write("<p><img src='img/tulip.jpg'></p>");  
    document.write("<h2>さくら</h2>");  
    document.write("<p><img src='img/sakura.jpg'></p>");  
    document.bgColor = "#ffff66";  
}
```

```
}  
</script>  
</head>  
<body>  
</body>  
</html>
```

実行結果は以下のとおりです。



サンプルコードの解説

if 文は条件式の評価結果が true の場合 { } (ブロック) 中の処理を行います。

```
if(number === 1){  
    document.write("<h1>春の花</h1>");  
    document.write("<h2>チューリップ</h2>");  
    document.write("<p><img src='img/tulip.jpg'></p>");  
    document.write("<h2>さくら</h2>");  
    document.write("<p><img src='img/sakura.jpg'></p>");  
    document.bgColor = "#ffff66";  
}
```

次に先ほどのコードについて、変数 `number` の値を 2 に変更してから実行してみてください。
すると何も表示されなくなる筈です。

「そうでなくてもし...ならば」～else if（エルスイフ）文～ 「そうでなければ...」～else（エルス）文～

さらに処理を分岐させたい場合は `else if` 文を、どの条件にも該当しない場合の処理を作成したい場合には `else` 文を使用します。

書式：

```
if ( 条件式① ){
    条件式①の判定結果が true の場合の処理;
}else if( 条件式② ){
    条件式①の判定結果が false で、条件式②の判定結果が true の場合の処理;
}else if( 条件式③ ){
    条件式①、条件式②の判定結果が false で、条件式③の判定結果が true の場合の処理;
}else{
    条件式①、条件式②、条件式③の判定結果が全て false の場合の処理;
}
```

※`else if` と `else` は必ず `if` とセットで使う。

※`else if` は複数回記述可能。

※`if` 文のみ、`if～else if` のみ、`if～else` のみの記述可能。

それでは、新しく「sample05_2.html」を作成し、結果を確認してください。

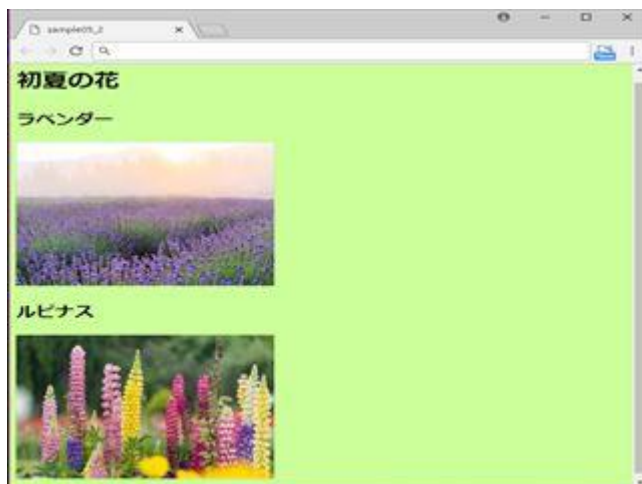
【sample05_2.html】

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="utf-8">
<title>sample05_2</title>
<script type>
var number = 2;

if(number === 1){
    document.write("<h1>春の花</h1>");
    document.write("<h2>チューリップ</h2>");
    document.write("<p><img src='img/tulip.jpg'></p>");
    document.write("<h2>さくら</h2>");
    document.write("<p><img src='img/sakura.jpg'></p>");
}
```

```
document.bgColor = "#ffff66";
}else if(number === 2){
    document.write("<h1>初夏の花</h1>");
    document.write("<h2>ラベンダー</h2>");
    document.write("<p><img src='img/lavender.jpg'></p>");
    document.write("<h2>ルピナス</h2>");
    document.write("<p><img src='img/lupinus.jpg'></p>");
    document.bgColor = "#ccff99";
}else{
    document.write("<p>不正な値が入力されました。</p>");
}
</script>
</head>
<body>
</body>
</html>
```

実行結果は以下のとおりです。



Note

条件は **if** と **else if** にのみ設定できます。**else** に条件を設定するとエラーになります。

<例> **else(number === 3)** ・・・×